日本で最も美しい村～北海道鶴居村　令和７年４月30日発行　No.185

議会だより つるい

春がやってきました！

２年後の令和９年４月に議会議員選挙があります！
村の政治に関心ある方の立候補を期待しています

一般質問がYouTube
で見ることができます！

TOPICS

令和７年度の予算は？・・・・・・・・・P2
３月定例会の中身は？・・・・・・・・・P8
５議員が村政を問う！一般質問・・・・P11

鶴居村マスコットキャラクター
「つるぼー」

希の杜分譲地第２期造成工事がはじまる！
総合センターを２年かけて機能改善！

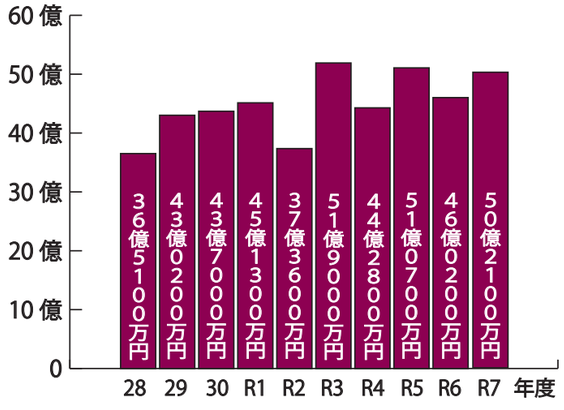
可決

令和７年度の予算はどうなった？

令和７年度一般会計予算の主な事業

①下幌呂希の杜第２期分譲地造成工事 …… 5億6179万円
②総合センター機能改善事業 …… 2億0743万円
③中雪裡下久著呂線改修事業 …… 2億0000万円
④鶴居中学校大規模改修事業 …… 1億3610万円
⑤消防救急デジタル無線更新事業 …… 1億0495万円
⑥標準準拠システム構築等事業 …… 9094万円
⑦ふるさと納税推進事業 …… 8843万円
⑧道営農道整備事業 …… 7688万円
⑨乳質改善奨励事業補助金 …… 5000万円
⑩情報通信基盤設備民間移行負担金 …… 4720万円

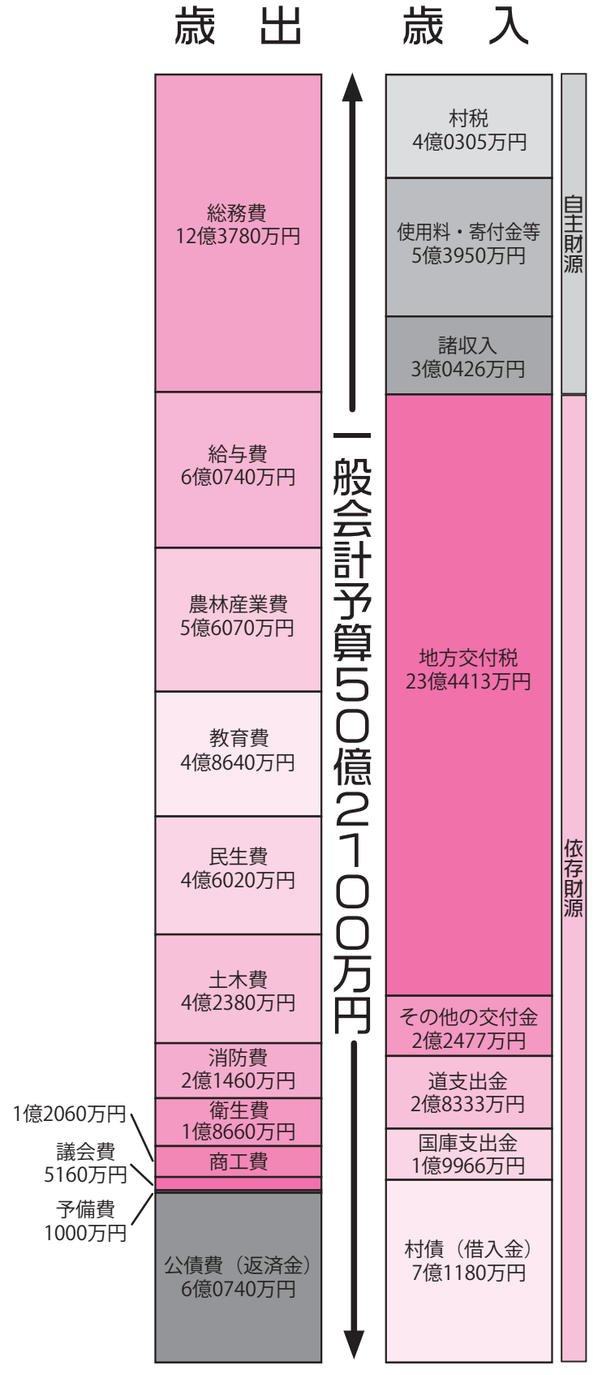
▶一般会計予算の推移



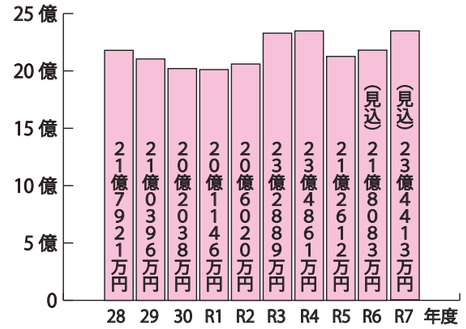
- 29、30年度は5億円を公共施設等整備基金に積み立てしており、実質は38億円程度。
- R１年度は子育て支援センター建設。
- R2、6年度は村長選挙の年で骨格予算となっており、実質49億円。
- R３年度は新総合体育館建設とコロナ対策費で過去最大。
- R５、6年度は鶴居中学校大規模改修工事のため予算が膨らむ。
- R7年度は総合センター機能改善工事や希の杜第２期工事などで増額。

令和７年度各会計予算

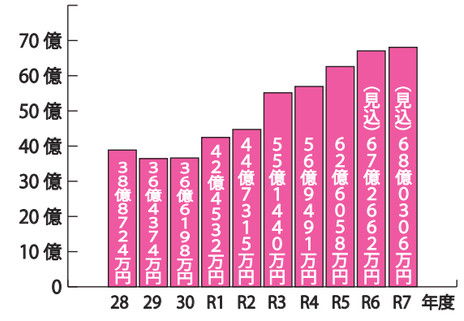
会計別	R７予算	R６予算	増　減	議決の内容
一　般　会　計	50億2100万円	46億0200万円	↑ 4億1900万円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計	3億4420万円	3億3120万円	↑ 1300万円	全員賛成により可決
診療所特別会計	3570万円	3500万円	↑ 70万円	全員賛成により可決
介護保険特別会計	2億9540万円	2億8350万円	↑ 1190万円	全員賛成により可決
後期高齢者医療特別会計	5320万円	5320万円	0万円	全員賛成により可決
簡易水道事業会計	1億5763万円	1億6873万円	↓ 1110万円	全員賛成により可決
農業集落排水事業会計	9219万円	9911万円	↓ 692万円	全員賛成により可決
合　計	59億9932万円	55億7274万円	↑ 4億2658万円	



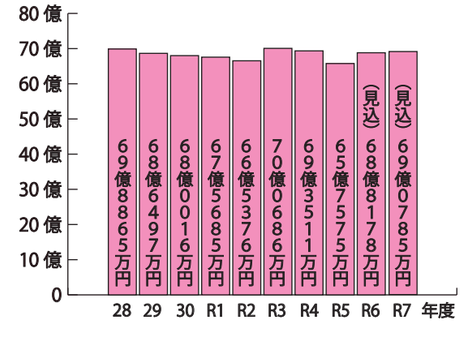
▶地方交付税の推移



▶借入金の推移（一般会計）



▶基金残高（貯金）の推移（特別会計含む）



3月定例会 3月6～17日

令和7年度予算で議員が注目した事業は？
予算委員会では7委員が82の質問をしました！

住民の声をどう活かしたか

予算特別委員会のあらまし

令和7年度一般会計および特別会計の各会計予算案は、松井廣道議長を除く8議員で構成される予算特別委員会を設置し、これに付託して審査を行いました。

事業内容や事業効率、効果などについて活発な質疑を行い、議案ごとに討論、採決を行った結果、全ての議案を「可決すべきもの」と決定しました。

▼委員長　松井俊治

▼副委員長　東　隆行

▽郵送をデジタルで　450万円

板 宏哉委員
通信運搬費が前年より70万ほど増額しているのは？

総務課長
郵送料が引き上げられているため、実績に応じて増額している。

板 宏哉委員
書類一つだけが郵送されてくることもあるが、デジタルで送ることも考えているのか。

総務課長
官公庁とのやり取りはほぼメールで行っている。

一般の住民宛では相手の送付先アドレスなどが必要になるため、現状では難しいので検討が必要になるが、削減に努めたい。

▽総合センター機能改善工事　2億303万円

吉田保博委員
どのような改善を？

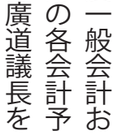
総務課長
2年間で約5億円の工事となる。まず内装工事と外部キュービクル工事を行います。多目的ホールは令和8年度の工事になります。

▽エアコンは？

大津泰則委員
総合センター機能改善工事約2億円のなかに、エアコン設置が含まれてないのは。

総務課長
検討はしたが、2年間の総合センター機能改善工事の中ではエアコン設置は行わないことになった。今後、役場庁舎と一体でのエアコン設置工事を考えている。

▽トイレ清掃委託　467万円



佐藤吉人委員
冬場の伊藤サンクチュアリのトイレが、とても汚れている状態だったと聞いたが？

総務課長補佐
外国人観光客が増えてきていて、トイレの使い方が原因で汚れてしまう問題があり、清掃回数を週1回に増やしている。

▽地域PR用ノベルティ　133万円

板 宏哉委員
どのようなノベルティを？

企画財政課長補佐
幅広く使えるノベルティを作る。

▽地域の持続的発展を考える自治体連絡会　5万円

松井洋和議員
この事業の目的と今後の活動は？

企画財政課長
過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に関して、過疎対策事業について研修などを通じて理解を深めるとともに、情報共有などによる連携を深め過疎地域の振興を図ることを目的に道内11町村で設立した。

会長は大石村長で中央要請などを行う。

▽大阪万博PR事業　232万円

大津泰則委員
この事業の内容は。

企画財政課長
大阪万博会場のシアタールームで、日本の魅力発信事業として、臨場感あふれる鶴居村のタンチョウや自然の立体映像を上映する事業。

費用は企業版ふるさと納税を使う。

全国で50団体の高品質な観光動画が上映される。

松井洋和議員
具体的には鶴居村のどのような動画を？

企画財政課長
6分の動画を上映する。動画にはタンチョウ・自然・特産品の3種類あり、何を見るかはお客様が選ぶことになる。

4月13日から見られる。

▽地域おこし協力隊　1404万円

松井洋和議員
新規で3人の地域おこし協力隊員の採用を予定しているが、役割は？

企画財政課長
現在2人の隊員がむらづくり鶴居で勤務している。

新規の3人は、観光推進、乳製品加工、地域支援で考えている。

現在、観光推進、乳製品加工については募集しているが、応募はまだない。

▽希（のぞみ）の杜第2期工事に公園は？　2億2000万円

及川満浩委員
下幌呂希の杜団地第2期工事の説明会で、公園を求める声が多かったが？

企画財政課長補佐
今回の予算の中には公園の整備は入っていない。

すでに第1期で公園を整備していることもあり、公園整備については今後も意見交換したいと考えている。

希の杜団地にある公園

令和７年度予算で議員が注目した事業は？
予算委員会では７委員が８２の質問をしました！

住民の声をどう活かしたか

▽村公式ＬＩＮＥ 532万円

板　宏哉委員　自治体の公式ＬＩＮＥは無料では？

総務課長　無料の公式ＬＩＮＥは情報発信がメインとなるが、今回は無料版とは異なり、住民と役場担当者が個人情報が保護された状態でやり取りできるものになる。予算額は3年分の利用料。

松井洋和議員　主な内容は？

総務課長　ミニホームページのようなイメージを考えている。メニューとしては様々出来るが今後詰めていく。

▽高齢者温泉入浴助成券 300万円

東　隆行委員　入浴券の利用率と、温泉に入りに行くことができない高齢者の対応は？

保健福祉課長　利用率は約70％。温泉に入りに行けない人には、巡回福祉バスを利用するなどして欲しいと考えている。

▽除雪費1回の金額は

佐藤吉人委員　冬の除雪費として1回当たりの単価は？

建設課長　除雪の単価は、雪の量や質、時間、機械の種類によっても違う。委託している全ての機械が1日出動すると４００～５００万くらいかかる。

▽帯状疱疹予防接種 306万円

及川満浩委員　この事業の内容は？

保健福祉課長　予防接種法が改正になり、主に65歳の人が定期接種の対象となった。村は6年度から50歳以上の人に半額補助で任意接種を行っているが、新年度は6割補助を行う。

松井洋和議員　令和６年度の接種状況は？

保健福祉課長補佐　対象者数は50歳以上の１３６６人で、予算としては２００人を見込んだ。

実際に接種した人は91人で、接種回数は１７８回、接種率は約７％となっている。

▽道営農道整備事業 5528万円
▽道営農道整備特別対策事業 2160万円

吉田保博委員　この２つの事業の違いは？

産業振興課長補佐　道営農道整備事業は道路の拡幅と舗装工事を、道営農道整備特別対策事業は道路の拡幅となっている。

機械が大型化し農道が狭くなっている

▽夢の杜団地立木撤去工事 267万円

東　隆行委員　この事業の内容は？

企画財政課長補佐　夢の杜団地内にある村有地の立木を撤去する。

令和５年度にも伐採しているが、今回は住民からの要望なども集約し危険のある木などを伐採する。

▽タンチョウ追払い事業 100万円

東　隆行委員　デントコーンの播種後に効果的な忌避剤があり、自分で使ったが効果があった。検討しては？

産業振興課長　初めて聞いたので検討したい。

▽釧路日台親善協会負担金 1万円

佐藤吉人委員　新規で計上されているが、台湾との交流は？

企画財政課長補佐　これまでも、台湾とは観光やサイクリングの関係で交流があったが、今後も釧路日台親善協会に加盟することにより、情報収集などの繋がりを持ちたいと考えている。

コロナ前はサイクリングなどで交流があった台湾

▽今後の財政運営は

及川満浩委員　ここ数年、大型のハード事業が続き、借入れや基金の持ち出しが多くなっている。今後の借入れや基金の運営方針は？

村長　借入残高が多くなってきているのは事実。また、基金については有利な借入れを活用しながら一定程度確保されている。

今後、借入れの返済が大きくなってくるので、どう対処していくかは誰もが気になる所だと思う。５・６年先には返済がピークを迎えるので、基金を上手に運用していくことが大切だと考えている。

現在、物価高騰などで経常経費が膨らんでいるのも課題なので、今後、十分に慎重な財政運営を心がける。

▽事業制度の検証見直しが必要では

大津泰則委員　総合計画により計画的に公共施設を建設してきているが、令和12年度には借入れ返済額が10億円になる。

そこで、村の制度の中には、時代に合わないものや必要性が低いもの、また、公共施設の中には利用の目的が限られてあまり使われていないもや、組織団体の既得権益的な施設もあると思われるので、改めて検証して欲しい。

村長　村の自主財源は25％ほどであり、50億の予算は大きな金額となっている。国の標準財政規模で考えれば40億くらいが適当かなと思う。しかし、次の時代への投資も必要であり、より慎重な対応が必要と考える。

また、事業制度の検証などは、より効率的効果的な運営に努めたい。

予算委員会 3月10、11日

どさんこ牧場の利用料金 を引き上げます。
診療所では薬不足が 続いています。

3月議会でどんなことを？

3月定例会

定例会のあらまし

第１回定例会は３月６日に開会し、11 日に閉会しました。
村長からの提出議案は 25 件で、内訳は条例案件７件、補正予算７件、新年度予算７件、人事案件２件、その他２件です。
一般質問では、５議員が９項目の質問で村政を問いました。

松井廣道議長

令和6年度各会計補正予算

会計別		補正額	総　額	議決の内容
一　般　会　計		▲3834万5千円	49億3793万0千円	全員賛成により可決
国民健康保険特別会計		2228万7千円	3億5862万2千円	全員賛成により可決
診療所特別会計		44万8千円	3872万9千円	全員賛成により可決
介護保険特別会計		▲1228万7千円	3億0543万7千円	全員賛成により可決
後期高齢者特別会計		▲357万5千円	5003万1千円	全員賛成により可決
簡易水道事業会計	収益的収入	474万2千円	8990万8千円	全員賛成により可決
	収益的支出	64万9千円	9695万7千円	
	資本的収入	614万1千円	6327万8千円	
農業集落排水事業会計	収益的収入	591万0千円	7776万2千円	全員賛成により可決
	収益的支出	1万0千円	4348万6千円	
	資本的収入	▲621万3千円	1691万8千円	

▶どさんこ牧場利用料引上げるが年齢制限は!?

どさんこ牧場の利用料金は今まで安かったときいており、引き上げには賛成。ただ、高齢者の需要も多いと思うので年齢制限を広げるなどの協議も必要では？

【産業振興課長】ケガなどの防止のために年齢制限をしている。
今後、指定管理者の振興公社と年齢の対象を広げることができないかを協議したい。

板 宏哉議員

▶スクールバスが購入できなかった!?　▲843.5万円

スクールバスが生産中止で購入できなかったが、業務への影響は？

【管理課長】６年度はスクールバス２台購入予定だったが、メーカーの受注停止を受け１台購入できなかった。買い替えを予定していたスクールバスを修繕を重ねて対応するので運営には支障はないと考えている。

及川 満浩議員

▶薬不足が続いているが診療所の状況は!?

ジェネリック医薬品の製造が安定せず、薬不足が続いているが、診療所の状況は？

【保健福祉課長】薬品メーカーの製造見合わせが続いている。特に小児科の薬が入荷しずらくなっており、対応に苦慮している状況。
村としても、しっかりと対応したい。

及川 満浩議員

▽人権擁護委員の推薦

人権擁護委員は、人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広めたりする活動をしている民間の方々です。
人権擁護委員制度は、様々な分野の人たちが人権思想を広め、地域の中で人権が侵害されないように配慮して人権を擁護していくことが望ましいという考えから設けられたもので、諸外国に例を見ない制度として発足しました。
人権擁護委員は無報酬ですが、現在、約1万4000人が法務大臣から委嘱され、全国の各市町村に配置されて、積極的な人権擁護活動を行っています。

▽小泉 きぬ子 さん　再任（67歳）

▽今井 直史 さん　新任（66歳）

任期は7月1日から3年間です。

3月定例会 審議した議案と結果

3月議会でどんなことを？

上程議案　賛成：○　反対：×　欠席：欠　除斥：―	結果	松井俊治	板宏哉	吉田保博	大津泰則	及川満浩	東隆行	佐藤吉人	松井洋和	松井廣道
令和７年度予算の認定										（注）議長は賛否を表明しません。
一般会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
国民健康保険特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
診療所特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
後期高齢者医療特別会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
簡易水道事業会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
農業集落排水事業会計	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
条例の制定・改正										
情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正 主に法改正によるものでスマホの電子証明機能に加え属性証明機能を追加。	全員賛成	○	○	○	○	及川議員は不幸があったため欠席	○	○	○	
村職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正 主に法改正による職員の勤務時間・休暇等の改正。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
村職員定数条例の一部改正 職員定数69人を75人に改正。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
どさんこ牧場の設置及び管理に関する条例の一部改正 主に料金を上げる改正。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
村営牧野施設の設置及び管理に関する条例の一部改正 主に利用料を上げる改正。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
犯罪被害者等支援条例の制定 犯罪被害者を支援する条例を新たに制定。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
村老人医療費の助成に関する条例を廃止する条例の制定 医療制度の公平性を確保するため65～69歳への助成を廃止する条例の制定。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
その他										
財産の無償譲渡 村の光ファイバー網設備のIP-BOX施設をNTTに無償譲渡。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
財産の無償貸付 上記のIP-BOX施設の土地をNTTに無償貸付。	全員賛成	○	○	○	○		○	○	○	
令和６年度補正予算										
一般会計（第６号） 主に不用額と実績見込み額などの計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
国民健康保険特別会計（第３号） 主に不用額と実績見込み額などの計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
診療所特別会計（第４号） 主に不用額と実績見込み額、施設修繕量などの計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険特別会計（第３号） 主に不用額と実績見込み額などの計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
後期高齢者特別会計（第２号） 主に不用額と実績見込み額などの計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
簡易水道事業会計（第４号） 主に不用額と実績見込み額などの計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
農業集落排水事業会計（第３号） 主に不用額と実績見込み額などの計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
人事案件										
人権擁護委員候補者の推薦（小泉きぬ子さん）	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
人権擁護委員候補者の推薦（今井直史さん）	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	

一般質問

村長・教育長へ聞きたいこと
5人の議員が9項目の質問

松井　洋和（まつい　ひろかず）　議員　P12
①複式学級のメリット・デメリットは
②小中学校での生成AIの活用は

大津　泰則（おおつ　やすのり）　議員　P13
①幌呂小中学校の今後の利活用は

佐藤　吉人（さとう　よしひと）　議員　P14
①個人宅の除雪体制は
②診療所の医療体制は

板　宏哉（いた　ひろや）　議員　P15
①鶴見台の環境整備は
②情報通信基盤設備の民間移行
③学習発表に向けての教育は

吉田　保博（よしだ　やすひろ）　議員　P16
①ふるさと納税の増収を

右の二次元バーコードをスマホで読み取ると、上記の一般質問のやり取りがYouTubeで見ることができます。

一般質問とは、議員が村の行財政全般にわたって、執行機関（村長・教育長）に疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。
紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

右の二次元バーコードをスマホで読み取るとYouTubeで一般質問の動画を見ることができます。

複式学級のメリット・デメリット

少子化により今後ますます複式学級が増えてくるが

教育長　学びの自己調整力を育成する素地となる

まつ い ひろかず
松井洋和 議員

松井 少子化により、複式学級が今後ますます増えてくることが予想されます。本村では、鶴居中学校以外は複式学級の学年があります。

そこで、複式学級のメリットとデメリット、そして、鶴居村ならではの複式学級に対する取り組みを伺います。

教育長 複式学級の一般的な特性としては、

・交流の相手が限定されるため、学習場面で多面的に考えながら討議を展開することなどが難しい

・児童生徒の年齢や学年が異なるため、個々の能力差や個人差が大きい

といった「課題と思われること」や

・少人数で、児童生徒一人一人に応じた指導が行いやすい

・学年別の指導の場合、児童生徒は、教師がつかない時間帯に、数多くの自学自習を経験できる

といった「長所と思われること」があるとされています。

私は、複式学級を通じて子供たちが積んできた「自学自習」の経験は、「学びの自己調整力」を育成する上での素地として大いに生かされていくものと考えています。

次に、特長的な取り組みとしては、下幌呂小学校で、令和4年度から「小規模校における個別最適な学習と協働的な学び」を主題とした研究に取り組んでいます。

教育委員会としては、引き続き、こうした複式学級の特質を最大限に生かした取り組みが一層充実し、児童生徒の主体性が育くまれるよう、学校の教育活動を支援してまいります。

小中学校での生成AIの活用は

松井 学校DXの中で、教師のAI活用については業務の負担軽減と教育の質の向上の両面から注目されています。

そこで、教育現場でのAI活用の現状と今後、そして、教育長のAIリテラシー教育についての見解を伺います。

教育長 現在、意図的に生成AIを活用した教育活動に取り組むことは行っていませんが、ICTを活用した教育を推進する過程で、汎用タイプの生成AIにふれる機会が生じることはあると承知しています。

また、道内では、国のリーディングDXスクール事業の指定を受け、教育利用や校務利用の実践に取り組んでいる学校もあります。

いずれにしても、児童生徒が学校で生成AIを使わないとしても、学校外で生成AIにふれることが十分に考えられることや、現実的に、生成AIが社会生活に組み込まれてきていることを考えれば、教育委員会として、学校に一律に禁止したり義務付けたりするなどといった硬直的な運用ではなく、先行事例や教材・ノウハウの周知・共有などにより、生成AIの適切な利活用を推進する環境整備が必要と考えています。

学習指導要領では情報活用能力を学習の基盤となる資質・能力と位置付けていることを踏まえ、児童生徒が生成AIのしくみや特徴を理解し、情報の真偽を確かめる習慣づけも含め、AI時代に求められる一定のリテラシーを身に付けることができるよう体制を整備していくことが必要になると考えています。

※リテラシーとは、特定の分野に関する知識や、それを活用する能力の指す言葉です。

下の二次元バーコードをスマホで読み取るとYouTubeで一般質問の動画を見ることができます。

幌呂小中学校の今後の利活用は

大学のサテライトキャンパスとしての活用は？

村長　今後様々な可能性を追及したい

おお つ やすのり
大津泰則 議員

大津 幌呂小中学校は4月から鶴居小中学校に統合されます。今後両校舎は、現在の「教育財産」から、役場所管の「普通財産」に移行して管理されますが、

①現在興味を示している企業や教育関係などからの問い合わせはあるのでしょうか。

②内閣府地方創生推進室では、平成30年6月に「東京圏の大学の地方へのサテライトキャンパスの設置（廃校舎の活用を含む）を促進する」こととしています。

釧路市も理工系でのサテライトキャンパスを考えていますが、私は以前から、鶴居村には国の特別天然記念物のタンチョウや釧路湿原国立公園、絶滅危惧種の動植物が多く生息しており、環境系のサテライトキャンパスが必要ではと思っていました。

また、環境系だけでなく、産業との連携による地域の活性化を考えたとき、観光系や本村の基幹産業である酪農系のサテライトキャンパスなどの情報収集も必要ではないかと思いますが、村長のサテライトキャンパスについての考えを伺います。

村長 学校は、幌呂地域のコミュニティや活動を支える中心的な機能を担ってきただけに、地域にとっても閉校後の施設の利活用は関心の高い事案と考えています。村では、閉校後の学校施設を学校財産から普通財産に移管し、新たな利活用が可能になるまでの間は施設を閉鎖することにしています。

①企業などからの問合せについては、これまでに数社の企業などから寄せられてきた経過はありますが、今後、詳細な打診などがあれば、情報提供したいと考えています。

本村には、タンチョウや釧路湿原をはじめとする雄大な自然や日本の食料需要を支える先進的な酪農経営が存在することから、これら魅力ある環境や地域資源などを生かしたサテライトキャンパスの誘致は学校施設の有効活用や産学官連携の促進などが期待でき、地域の活性化に有効なものと考えます。

しかし、急速に進む少子化の影響などによる学生確保の難しさや、施設整備費用や維持管理費などが、大学や地元自治体にとって大きな負担になることも考えられます。

私としては、議員の考え方と同様に様々な可能性を追求しながら、閉校後の幌呂小学校、中学校を村民や地域理解のもとで有効な利活用を模索していきたいと考えています。

2年後の4月に議会議員選挙があります。
女性や若者の立候補を期待しています。

一般質問の動画をYouTubeにアップしていますので参考にして下さい。

右の二次元バーコードをスマホで読み取るとYouTubeで一般質問の動画を見ることができます。

個人宅の除雪体制は

下雪裡地区ではオペレーター不足から個人宅の除雪ができなくなったのですが

村長　担い手不足など今後の地域課題と認識

佐藤吉人（さとうよしひと）　議員

佐藤　今年の冬は、いつもの年に比べても小雪傾向でした。

自分が40年間住んでいる下雪裡地区では地区トラクター組合があるので、降雪時の除雪体制について考えたこともありませんでしたが、トラクター組合オペレーター不足から「地区の家庭用除雪はできないので、各自知り合いなどを通じて除雪作業の手配をして下さい」とのことでした。

その後、連合会長も地区トラクター組合や役場建設課に地域家庭の除雪について申し入れをしましたが、現状では「無理」とのことでした。

そして今年の2月4日の大雪の際には急遽、地区で貸別荘を営業している釧路市内の事業者さんにお願いし、住民宅の除雪を行いました。

今回の事例が地区の特殊な事例なのかもしれませんが、個人宅周辺の除雪体制についての見解を伺います。

村長　個人宅周辺の除雪は、自らの作業や地域内の支えあいなどで、冬場の暮らしや活動が確保されていると考えています。

しかし、高齢化の進展や人口減少、単身世帯の増加などによって一人で除雪することが困難な世帯が発生し、今後、除雪作業を担う事業者の確保や地域内の連携や協力体制が弱まっていくことが危惧されます。

村としては、次年度以降の除雪についても、道路や公共施設などの対応に万全を期していくとともに、今後も高齢者世帯に対する除雪支援を講じていきます。

質問にあるように、基本的には自宅周辺の除雪は居住者自らが対応すべきことですが、作業機械を必要とする作業の担い手の不足などは今後の課題と認識しています。

今後、人口減少などによるこれら地域の課題について、注視していかなければならないと考えています。

診療所の医療体制は

佐藤　現在、診療所には様々な医療機器がありますが、昨年から臨床検査技師さんが常勤されており、検査範囲が広がったとの話を聞いています。

そこで、診療所ではどのような検査が行われているのかと、今年度導入された電子カルテの現況と今後の広域医療連携についての状況を伺います。

村長　つるい養生邑病院から臨床検査技師1名を診療所に移籍させ、専任で業務にあたっています。

このことにより、新型コロナやインフルエンザなどの感染症をはじめ、超音波画像診断装置（エコー）や心電計を用いた生理機能などの検査内容が充実したほか、外部委託による顕微鏡の細菌検査や血液生化学検査を取り扱うことができるようになりました。

次に、紙のカルテから診療情報を電子的なシステムで一元管理する「電子カルテ」に移行させるため、現在、導入作業を進めています。

予約受付から検査や診察情報、薬の処方や会計でも相互に共有することができ、より的確な治療や患者の待ち時間の短縮、さらに診療情報のデータベース化によって業務の効率化や書類の削減などが図られます。

下の二次元バーコードをスマホで読み取るとYouTubeで一般質問の動画を見ることができます。

鶴見台の環境整備は

鶴見台周辺の樹木が伐採されたが？交通事故の未然防止を！

村長　地域や関係者と協議の上伐採。交通事故を心配する声を聞いている。

板（いた）　宏哉（ひろや）　議員

板　タンチョウを観測するために多くの観光客が訪れる鶴見台ですが、今年の冬シーズンが始まる前あたりに鶴見台周辺の樹木が伐採されているかと思います。

①今回のこの鶴見台の樹木の伐採については年間予算内の支障木の伐採として行われた事業になるのでしょうか。

②鶴見台周辺の道路は車通りが多いにも関わらず、信号無視の道路横断なども目立ちます。事故の発生を未然に防ぐための対策などはお考えでしょうか。

村長　鶴見台はタンチョウの保護保全の拠点ですが、これまでその周辺は、長く雑木が繁茂する状況にあったため、タンチョウの飛来を前に、地元地域や関係者などとの合意のもとで雑木などの伐採作業を進めたものです。昨年9月の補正予算で計上した道路景観整備工事に要する予算を活用しています。

次に、鶴見台周辺を訪れる観光客の交通対応についてですが、コロナ禍後は、タンチョウを見学する観光客で混雑している状況にあり、横断歩道の信号を守らない一部観光客が存在し、交通事故を心配する声を聞いています。

地域や関係機関などとの情報共有や、今後の対応策などを協議していきたいと考えます。

情報通信基盤設備の民間移行は

板　令和7年度に予定されている情報通信基盤設備の民間移行について伺います。

①民間移行に踏み切った経緯を伺います。

②民間移行をするにあたり、IP告知端末を廃止し、スマートフォンによる情報発信にシフトしていく計画かと思いますが、その移行期間などの計画を伺います。

③スマートフォンを活用した情報発信をしていくにあたり、将来的に追加していきたい機能などの見通しはあるのでしょうか。

村長　①この通信設備は、機器設備の更新が必要で、地方自治体には大きな財政負担となるためです。

②民間事業者に通信設備を譲渡するまでの早い段階で一定の考え方を整理したいと考えています。

③今後は村の公式ＬＩＮＥを開設するので、ＳＮＳを生かした双方向での利用を可能とする新たな通信環境を確保していきたいと考えています。

学習発表の教育は

板　先日、タンチョウ再発見から100年を記念して開催されたタンチョウフォーラムにて、幌呂中学校の生徒たちによる学習発表を拝見しましたが、その内容が大変素晴らしいもので完成度の高さに驚きました。

そこで、学習発表については、どういうかたちの教育が行われているのでしょうか。

教育長　幌呂中学校では、①協働して課題を解決しようとする学習活動②言語により分析・まとめ・表現する学習活動③コンピュータを活用して情報収集・整理・発信する学習活動④タンチョウなどの地域素材や環境を積極的に活用する学習活動を目標として取り組んできており、生徒の発表はまさにこうした目標のもとで取り組んできた成果といえます。

右の二次元バーコードをスマホで読み取るとYouTubeで一般質問の動画を見ることができます。

ふるさと納税の増収を

早期のふるさと納税増収増益を期待しているが。

村長　内容充実に鋭意努力する

よしだ　やすひろ
吉田保博　議員

吉田　「ふるさと納税については、地方税法に基づく適切な運用に努めながら、地元事業者等と連携して寄附者の善意に感謝する返礼品の充実や商品提供等に取り組むとともに、納税額の拡大に努めてまいります」と執行方針にあります。

　この事業は、株式会社むらづくり鶴居に委託しており、令和5年度の寄付額は1億1326万円で前年度より約1千万円減少しています。

　この要因は制度改正その他要因によると分析しており、会社の中期経営計画では、ふるさと納税寄附金拡大を見越した計画をしているとありますが。

　そこで令和6年度はどのような状況なのか。また、令和7年度は1億5400百万円と計画しているが実現することは可能でしょうか。

　寄付者の大半は返礼品が目的と思います。新たなる商品の開発や鶴居村のPRを積極的に展開しているようですが、早期の寄附金の増収増益に期待しているところですので、村長の見解を伺います。

村長　本村の令和5年度ふるさと納税寄付額は1億1326万7千円となり、前年実績を下回る結果となりました。

　納税額の主な減少要因は、総務省告示の制度改正により、令和5年10月から寄付額に占める経費を5割以内に制限されたことなどによるものと考えています。

　この改正により、寄付金額の引上げや返礼品の内容変更を余儀なくされたことや、本村の主力返礼品の在庫数に限りがあったことから、制度改正による直前駆け込み寄付に対応できなかったことなどが挙げられると分析しています。

　今年度のふるさと納税は、1月末現在で1億3590万円となっており、既に前年の全体実績額を上回り、今後の想定などから1億4500万円万円程度になると見込んでいます。

　次に、令和7年度の寄付額を1億5000万円程度と見込んでいますが、今後も寄附額確保に向けて村内事業者との連携強化による返礼品の在庫数確保などに努めるとともに、村の公式SNSを通じた周知強化や首都圏などで開催されるイベントにおけるPR活動、さらに特産品カタログやポータルサイトの内容充実に鋭意努力する考えています。

議会だよりは要約されています。
臨場感ある本会議場へお越しください。

議会の傍聴お待ちしています。
次回定例会は6月12日(木)10時～役場2階（予定）

議員別に定例会などでの質問回数を数えてみました

しかし、質問の回数が直接議員を評価するものではありません。

質問の回数ばかりではなく、その内容や議場以外での活動も議員として大切な仕事です。
村民の皆さまに議会・議員に興味を持ってもらう一つのデータとして掲載しました。

議会名	松井俊治	板宏哉	吉田保博	大津泰則	及川満浩	東隆行	佐藤吉人	松井洋和	松井廣道
令和5年度の合計質問回数	59	48	34	7	75	4	27	37	（注）議長は質問しません。
令和6年4月臨時会　議案	1		1		1				
令和6年5月臨時会　議案					1				
令和6年6月定例会　一般質問	1	1	1	1			2		
令和6年6月定例会　議案	3	3	3	1	13		1	5	
令和6年9月定例会　一般質問	1	1	1	2	2		2		
令和6年9月定例会　議案		1	1	2	5	2			
令和6年9月　決算特別委員会	19	8	9	監査	24	1	委員長	10	
令和6年12月定例会　一般質問		1	1		3				
令和6年12月定例会　議案	5	1	4		4			3	
令和7年1月臨時会　議案		1	1					1	
令和7年3月定例会　一般質問		3	1	1			2	2	
令和7年3月定例会　議案		2			5		1	1	
令和7年3月　予算特別委員会	委員長	7	22	7	20	9	8	9	
令和6年度の合計質問回数	30	29	45	14	78	12	16	31	

上程議案　賛成：○　反対：×　欠席：欠　除斥：―	結果	松井俊治	板宏哉	吉田保博	大津泰則	及川満浩	東隆行	佐藤吉人	松井洋和	松井廣道
第1回臨時会　1月23日開催										（注）議長は賛否を表明しません。
条例の改正										
一般職員給与条例の一部改正 人事院勧告に基ずき職員給与をひきあげる改正。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正 人事院勧告に基ずき期末手当を0.1月引き上げる改正。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
職員の寒冷地手当に関する条例の一部改正 人事院勧告に基ずき寒冷地手当を引き上げる改正。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和6年度補正予算										
一般会計（第5号） 主に人事院勧告による人件費や物価高騰対策費などの増額計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
診療所特別会計（第3号） 主に人事院勧告による人件費などの増額計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
簡易水道事業会計（第3号） 主に事院勧告による人件費などの増額計上。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議案										
議会議員の議員報酬・期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正 人事院勧告に基ずき期末手当を0.1月引き上げる改正。	全員賛成	○	○	○	○	○	○	○	○	

▶総務常任委員会所管事務調査
救命救急を学びました。

▼総務常任委員会
令和7年4月9日に総務常任委員会を開催しました。
今回は、鶴居消防署で救命救急の講習を受けました。

▼出席者
鶴居消防署　東康太郎
　　赤石望夢

総務常任委員会
委員長　吉田保博
副委員長　松井俊治
委員　大津泰則
委員　及川満浩
委員　板　宏哉
オブザーバー　松井議長

▼調査事項
○心肺蘇生法やＡＥＤの取り扱いなどの現状調査

実際に心肺蘇生法とAED使用法を体験しました。

表紙の写真

4月12日の朝5時に温根内ビジターセンターの木道に、議会事務局長が奥様と趣味の写真を撮りに行った時の一コマです。
木道の向こうでエサを食べていたエゾシカがこちらを向いた瞬間を捉えました。
それにしても早起きですね。

▶産業常任委員会所管事務調査
観光協会と意見交換しました。

▼産業常任委員会
令和7年4月10日に産業常任委員会を開催しました。
今回は、産業振興課の所管事務調査として観光協会との意見交換を行いました。

▼出席者
産業振興課長　成田　信
観光協会
理事長　和田正宏
事務局長　片桐　修

産業常任委員会
委員長　東　隆行
副委員長　松井俊治
委員　及川満浩
委員　松井洋和
委員　板　宏哉
オブザーバー　松井議長

▼調査事項
○鶴居村釧路湿原コンテンツ創出事業の計画及び進捗状況
○観光協会との意見交換会

議員控室で産業常任委員会を開催しました。

▼鶴居村釧路湿原
観光コンテンツ創出事業
この事業は国立公園アドベンチャートラベルの発展事業として、主に宮島岬を観光コンテンツとして活用できるように活動する事業です。
今後、
○認定ガイド制度
○プロジェクト会議の実施
○ＡＴ特設サイトの作成
○宮島岬のモニターツアーの実施
○動画制作、写真撮影
○インバウンド向け告知活動
を予定しています。

▼鶴居村観光協会
12月から事務局長に片桐さんが就任して、新しい体制となりました。
今後、地域おこし協力隊員も加わる予定をしており、有意義な意見交換を行いました。

宮島岬は往復で4時間くらいかかります。新たな観光コンテンツとして期待できます。

ふくしを考え隊

宅配ボランティア弁当

どんな活動をしているの？

私たちは、令和5年度から月2回、村内の高齢の方や、障害のある方に、お弁当を作りお届けしているボランティア団体です。

現在ボランティアスタッフが14名。一回当たりの参加人数は10人程度で、調理と配達を分担します。

調理は、「あすぽっと」で行っており、時短で美味しく作る技を教えあったり、盛り付けでは「あーでもないこーでもない」とわいわい賑やかです。

配達は4～5人で各地区を回ります。必ず手渡しでお届けしていますので、お弁当の感想など利用者さんの声を持ち帰ってくれます。

どんなお弁当？

この活動の財源は、日野浦基金などの助成金と利用者さんの負担金（弁当代）です。そして、家庭菜園の野菜を提供いただいてることや、生きがい野菜倶楽部さんの新鮮野菜を購入することで、安価なお弁当をお届けすることができています。

令和6年度には、凍原社さんと鶴小児童の協力を得られ、素敵なお弁当掛け紙を作ることができました。見て楽しい食べて美味しいお弁当です。

お陰様で利用者の方々には「たくさん野菜が入っていて嬉しい」「楽しみに待っている」と笑顔で声をかけていただき、私たちの励みになっています。

住民の声

どんな人が利用しているの？

当初は、何人の方が利用してくれるだろうかと手探りの状態で始めた活動でしたが、3年目となる今は20名を超えており、新規利用の募集はストップしています。

単身で暮らしている方、高齢者世帯、家族と同居されている方もいますし生活スタイルはさまざまです。離れて暮らす家族から注文を受けるケースもあり、暮らしの中での食事の重要性を感じています。

現在の村の配食サービスのあり方では、必要としているのに利用できないという方もいらっしゃるのではないでしょうか。

自炊する、ヘルパーさんが来てくれる、店で購入する、外食、配食。たくさんの選択肢が選ぶ楽しみや、地域生活での安心につながります。

そのひとつに私たちのお弁当も入っていれば嬉しいです。

今後の活動は？

今年度も継続し、楽しみに待ってくれている利用者さんへお届けします。

毎週してほしいとの要望もあるのですが、スタッフの人数等の理由から現状困難です。

しかしながら、食事は生活の基本です。安心して暮らせるよう住民のニーズに合った配食サービスに取り組んでほしいと、アプローチしていくことも私たちにできる活動のひとつかもしれません。

また、私たちのお弁当が、病気の方や育児・介護中の方にもレスパイト的な使い方をしてもらえるようになれればと思います。

発行責任者
議　長　松井廣道

広報広聴常任委員会
委員長　佐藤吉人
副委員長　板　宏哉
委　員　松井洋和
委　員　松井俊治

ふだんのくらしのしあわせを考えたい　**ボランティア募集**

第1・第3木曜日の午後 『あすぽっと』に、ぜひ見学にいらしてください

発行 / 北海道鶴居村議会　編集 / 議会広報広聴常任委員会

〒085-1203 北海道阿寒郡鶴居村鶴居西1丁目1番地　TEL　0154-64-2511